

## 令和3年度の事業計画について（案）

## 【アンケート結果】

## (1) 微小粒子状物質に係る事業計画について

意見等	<p>全体的には今年度と同様でいいと思います。高濃度事象の解析方針も同様で、重要度が高いものに限定するのがいいと思います。（群馬県）</p> <p>光化学調査の拡充や近年の環境基準達成状況を考慮して、調査方法の見直しを行ってもいいのではないのでしょうか。（川崎市）</p>
意見等なし	14 自治体

## (2) 微小粒子状物質 令和3年度 報告書について

意見等	<p>基本的には令和2年度と同様で良いと思いますが、オキシダント調査の報告書作成が新たに加わってくる分、全体としての作業量を減らすため報告内容の削減も検討する必要があると思われます。（千葉県）</p>
意見等なし	15 自治体

## (3) 令和3年度におけるオキシダント調査事業について（案）の対する意見

意見等	<p>(1) の解析調査で扱うデータはⅡ型共同研究で整備されたデータであり、解析内容も重複していますので、重複部分についてはⅡ型共同研究の結果を共有することとし、本調査会議では関東甲信静地域の全自治体が参画しているという利点を活かし、R3年度以降は(2)のVOC広域測定の方を中心に展開していくのがよいと考えます。（群馬県）</p> <p>「報告書の作成時期は、解析状況等を踏まえて調整する」とのことですが、異動等により担当者が年度ごとに交代する中で、その年度に行った解析の結果をその年度の報告書に入れないのであれば、後年になって困ることのないように、少なくとも報告書の基になる図表および考察を作って引き継ぐ必要があると思います。（埼玉県）</p> <p>夏季測定調査の結果の整理方法をもう少し具体的に示していただけると、分析担当者へ説明がしやすくなるので助かります。九都県市においても同様の事業を計画していることから、違いを明確にさせていただきよう整理願います。（千葉県）</p> <p>研究結果のプレス発表は令和3年度には行わないのでしょうか。（川崎市）</p>
意見等なし	12 自治体

(4) 令和3年度 VOC 等測定調査について

可	<p>16 自治体</p> <p>(意見等) 暫定的なマニュアルの様なものがあれば、測定のイメージを統一できて良いと思います。(栃木県)</p> <p>タイマーなどの機材を所有しておらずサンプリングには制約があるため、可能な範囲での対応になります。(群馬県)</p> <p>オリンピックが開催されることを前提に、近隣自治体と連携した調査を実施したいと考えています。(神奈川県)</p> <p>令和3年度の VOC 等測定調査を実施した場合、山梨県の測定項目は HAPs のみ対応可能です。(アルデヒド類及び PMAS の測定予定はございません) (山梨県)</p> <p>(サンプリングのみ実施、分析も実施等、来年度の状況により、参加の形は異なります。)(川崎市)</p> <p>VOC11 成分 (塩化ビニルモノマー等) 及びアルデヒド類 2 成分の 24 時間連続採取であれば可能です。現時点では可能ですが、調査日程によっては他業務等との兼ね合いで参加できない場合があることを申し添えます。(静岡市)</p>
否	<p>1 自治体</p>

(5) 自治体独自の測定調査について

別紙参照

【事務局案】

- ・来年度の微小粒子状物質に係る事業計画については、大幅な変更を希望する意見がなかったことから、事業計画の骨格は、基本的に本年度と同様とすることを提案します。
- ・光化学オキシダント調査については、解析調査及び参加可能な自治体による VOC の広域測定調査を実施することを提案します。